

# 四谷の

# 千枚田だより



第 71 号

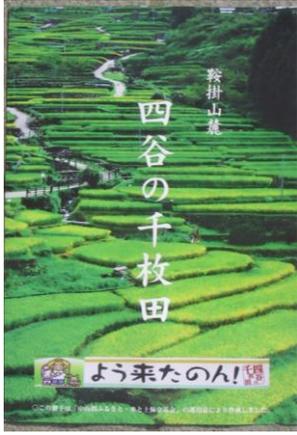


## 千枚田のパンフレット

鞍掛山麓千枚田保存会では棚田の魅力満載したパンフレット(2つ折り6ページと見開き、各A4サイズ)2タイプを作成、発行した。

内容は四季折々の風景を面に、春夏秋冬・都市交流・伝承・伝説・むらづくり(各種受賞、認定)・散策マップなどに纏めた。

配布は海老地区全戸、各種イベント、都市交流・講演・見学者、近接の各施設など、多岐にわたり配布、好評を得ている。



このパンフレットは愛知県ふるさと・水と土指導員活動支援の一環として県の中山間ふるさと水と土保全基金を活用して作成していただきました。



## モリアオガエル

平成十四年、保存会は「ふるさと水と土ふれあい事業」竣工を機に、千枚田の禁海拔二百三十以上に自然再生の場としてビオトープを造成、付近の田んぼや小沢からドジョウなどの移殖を行い自然繁殖に至った。また、この付近はモリアオガエルの分布域で天王橋付近海拔三百三十以上から上では毎年産卵が多くみられる。

同年、保存会主催の親子観察会のおり、あらかじめ養成したモリアオガエル(エラ呼吸から肺呼吸に変態時)の「たべらっこ」をビオトープに放流、分布域の拡大を参加者と願った。そして三年後の平成十七年、二個の卵塊を発見。以降、毎年数個の産卵がみられ、自然産卵の場に至った。また、同種は水面上の木の枝に好んで産卵する習性を持つことから田んぼの畦にナンテンを二本植えた。これを見た百姓や訪れる人には「なぜ、田んぼの畦にナンテンを・・・」と奇異の目で見られていたことは承知であった。

今年の六月三十日早朝、ビックリ仰天!何と、ナンテンに特大の卵塊がぶら下がっているではないか。もう、興奮状態!長年(七年)の夢が叶った。それも思惑どおりに・・・もう、嬉しくて、うれしくて。棚田の保存、

保全に費やしてきた十九年間の中でも最高の喜びと、「生きもの」から褒美を貰った感謝の気持ちでいっぱいになった。・・・うれしかった。――何事も、真剣に取り組めばよい結果は巡ってくることを実感した。――まだまだがんばらなくちゃあ・・・



## 春の特別展連携講座 生物多様性を学ぶ 現地見学会

鳳来寺山自然科学博物館では六月十四日、「棚田の保全と生きものたち」と題して島田の棚田↓四谷の千枚田↓博物館特別展のコースで現地学習会を開催した。

なお、春の特別展(四月二十九日〜六月二十九日)「ふるさとの棚田と湿地をまもる」では来館者が展示物や写真パネルを見て「一度、この目で棚田を見たい」と四谷の千枚田のパンフレット片手に訪れ、多くの方々に感動を与えた。

## 田の草取り

●六月十八日、豊橋調理製菓専門学校は学校の実習田で稲の生育調査、環境調査、田の草取りを実施、稲の生育の早さにビックリの様子であった。また、雷鳴轟くなか梅を収穫、身平橋集会所で梅干、梅ジュースなどの加工品の下ごしらえを行った。



●六月二十日、三河の山里ツアー（シリーズ）の田の草取りと梅取りが行われた。この、稲作体験は四年目で最初から参加の親子など「お馴染みさん」も多く、千枚田の酸素生物多様性がなによりのご馳走だと喜ばれている。



●六月二十四日、連谷小学校の学校田では新しく立て替えられた立看板「ハッピー田・ラッキー田・うれしい田」の田の草取りを行った。

きれいな田んぼになり十一人の児童は大はしゃぎであった。

●六月二十七日、JA愛知東主催こども農学校では「田んぼの観察に行こう」と題して高橋庄一（顧問）の指導で田の草取りが行われた。

## 棚田がバラエティで大賑わい

東海テレビは田吾作の協力で五月半ばから四谷の千枚田でテレビ撮影が行われている。

この撮影は、タレントの「はなわ」さんが主役で棚田の四季折々を通

した初蒔き、田植え、収穫までの米作りを主題とした撮影が行われている。

中京テレビ

## 「幸せの黄色い子犬」



千原兄弟・千原せいじさんの五歳の息子「夕」くんが醤油の一升瓶を持って四谷の千枚田へ訪れた。

夕くんは（舜）夫婦が田植えをしていると「田植えをさしてください」と初めての田植えに挑戦。川遊びやマムシの尾っぽに触るなどした後、「この、醤油でなにかおいしいものを作ってください」とお願いされた。

「田植えも手伝ってくれたことだし、この、棚田で穫れたお米でおいしいご飯をご馳走しよう」ということで「焼おにぎり」と「へぼ飯」を食べさせてあげた。夕くんは二品とも「メッチャうまい」と大喜びであった。

六月十三日放送。中京テレビのスタジオでアンパンマンの声優でおなじみの戸田恵子さんとにぎやかな青木さやかさんも「へぼ飯」を目をつむり食べ、おいしいを連発した。余談：生放送で青木さやかさんは「小山さんが好き」と告白した。

## 豊川流域の児童交流

七月八日、賀茂小の四、五年生三十人が鳳来西小（全校児童二十六人）

を訪れ地域の紹介や奥三河名物の五平餅を味わったりした。

賀茂小の児童は四谷の千枚田や広見のヤナも訪れ、山の暮らしを学んだ。

## げんげん新

のんほい千枚田にホウライジュリが咲きだしたのん：昔やあまつと、そこらじゅうに咲いとつただのん：：：～



なんでこんねにへっちゃつたづらかのんほい：：そりやあ猪だわいのん、やつら花が咲くとそおっと見にくりあがつて、花が散るとそいから堀にくるだのん：：ふくん頭がいいだのん：：そりやあ（舜）よりよっぽどいいわいのん、花が散りやあそれだけ球根に栄養つちゅうもんがいくことおちゃんど知つとりやあがるだのん。それに、若い衆（猿）も掘るただぞん：：ふくん困つたむんだのん：：

行 平成二十一年七月十五日  
鞍掛山麓千枚田保存会  
発 文 責 小山舜二